

NHK大河「八重の桜」に二番近い 会津北嶺高校の入学式

2025年度会津北嶺高等学校の入学式が4月8日同校体育館にて開催された。本年度の新入生は108名。

式はキリスト教主義の入学式で、十字架の燭台に4本の蠟燭を点し、国家斉唱、賛美歌、来賓祝

辞があり、歓迎の言葉は在校生を代表して小椋結月さん、誓いの言葉は新入生を代表して矢吹虎太郎さんが行った。

なお席上、石山裕司学校長は「本校は1923年に石山休三先生が、博愛・自由・平等の建学

の精神のもと、若松裁縫女学校として創立され、102年を迎えました。

本校の教育の一つの柱に、徐行不休の校是として急がず休まず実行することによって目的が達せられる事を体験して不撓不屈の精神を培う。1947年からは新島襄が立ち上げたキリスト教教育を徳育教育の柱として建学の精神の教育目標、生きること、愛すること、学ぶこと、そして貢献すること。人間は平等であるか

ら、先生は生徒さんと呼ばひ捨てしません。(中略)そして、授業時数も設備も電子黒板は各教室すべて設置、ICT推進教育を実施、教室の窓は全て複層サッシや二重サッシになっていきます。暖房も環境に優しいペレットストーブとエアコンを併用しており、どの県立の進学校にも引けを取ることはありません。なおトイレは全て温水洗浄便座です。(中略)自分の目標達成のために一番大切な事を一番先に行う習慣をつけてください。そして、豊かな人生を送れる人財となってください」と、式辞を述べた。

